

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 070	提案機関名 神奈川県 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 子実用トウモロコシ栽培技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 過去に経験したことがないほどの飼料価格高騰により経営環境はより厳しくなっている。価格高騰だけでなく、中国などの需要の激増で「買い負け」による輸入飼料不足が深刻化している。 本県では、乳牛用サイレージ等、牛に給与するトウモロコシの栽培・利用に関する試験研究は進んでいるが、子実用トウモロコシ栽培・利用に関する研究は今後の発展が期待される。 飼料不足にあえぐのは牛だけでなく豚・鶏も同様であるため、本県でも活用できる子実用トウモロコシの栽培・利用体系の確立に向けての取り組みをお願いしたい。 1：本県の気候に適した品種の選定 2：遊休農地（水田を想定）を活用した栽培体系の確立 3：利用技術の確立（既存の機械・設備等の利用可能性や新規投資の必要性の検討含む）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 子実用とうもろこしの安定多収生産技術の開発（令和4～6年度）		
対応の内容等	ご指摘のとおり、国産子実用トウモロコシの生産については、その必要性が高まっていると理解しております。つきましては、令和4年度から農水省委託プロジェクト研究「子実用とうもろこし（国産濃厚飼料）の安定多収生産技術の開発」に当所も参加し、農研機構を中心に都道府県、大学等が連携する中で取組みを開始しています。要望の1については、神奈川県が課題「暖地における遅まき栽培向け高能力品種の選定」として取り組んでいるところです。要望の2については、本委託プロジェクト研究が想定しているところであり、要望の3についても本プロジェクトの中で明らかになっていく予定です。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			